

# 清流ニューズ

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニューズ編集室  
電話 (042) 646-0287 (代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp/org/

平成二十五年 度 総 祈 願  
日序上人御十七回忌報恩御奉公成就  
教化必成 教務員増加 報恩御有志目標達成 完納成就  
羽村別院 改修 成就 之御願  
佛立菩薩増加 助行運動推進  
役中後継者養成 法灯相続促進

十一月の御総講日

一日 十時 御修行日

七日 十時 バースデー総講  
日序上人報恩祈念

十三日 十時 高祖御命日

十七日 十時 開導御命日

廿五日 十時 門祖御命日

於 清 流 寺

十二日 十時 高祖御速夜

十六日 十時 開導御速夜

廿四日 十時 門祖御速夜

三十日 十時 歡尊御命日

於 羽 村 別 院

會議

一日 御総講後 役中會議

廿五日 御総講後 教区長會議

三十日 午後一時 参事會

## 法類巡教

### 高祖日蓮大菩薩御會式

#### 無事奉修される



力強くご唱導される澤田日義上人



法類巡教について説明される山崎日明化主



本年最後の御會式は、法類巡教により、小田原・法正寺御高職・澤田日義上人のご唱導により力強い御看経があげられました。巡教随伴として小諸・農玉寺住職、山崎日明御化主のご出座を頂き、法正寺、

農玉寺より団参をいただき、にぎやかに奉修されました。当日は、七五三の御礼参詣もあり、可愛らしいお子さんとご家族が、御導師の前へ進み、お祝いの記念品をいただき参詣者から祝福をうけていました。

その後、御内仏にて、お祝いの記念撮影におさまりました。(写真二枚目)

### 十一月朝参詣強調週間

第二、第四連合担当  
二日、六日まで

十一月二日より、本年最後の朝参詣強調週間が実施されます。日序上人御十七回忌報恩ご奉公円成のためにも、朝参詣に気張り、なんとしても教化必成をはたさなければなりません。第三、第四連合が担当ですが、教化未成就者は、率先して朝参詣に頑張ります。都合により順序を変えさせていただきます。

- 十一月二日 (土) 東村山教区
- 三日 (日) 国分寺教区
- 四日 (月) 小平教区
- 五日 (火) 小金井教区
- 六日 (水) 昭島教区

### お知らせ

#### 日序上人第十七回忌 報恩ご奉公

御有志奉納者氏名は、新しく申し込まれた方の氏名で、かならずしも完納された方だけの氏名ではありません。

奉納目標二千口に対し、九月十九日現在、一四五四口です。ご高承の通り、平成二十一年からの五ヶ年計画で、①本堂改修②客殿改装③教務室改装④教養会用の設備充実⑤食堂等の照明⑥羽村別院の改修させて頂き、浄財の勧募をさせていただきます。

完納者の方も今一度趣意をご理解いただき、志篤い浄財喜捨をいただきたく存じます。(財務担当 寺務所)

日序上人御十七回忌報恩ご奉公御有志奉納者氏名(その四十九) (教区順。敬称略。順不同) 二十五日十月十七日現在 合計七三一名、一、四六四口

## 本月の御妙判

### 化他即自行

今、日蓮は去又ル建長五年四月廿八日より今年弘安三年十二月にいたるまで二十八年が間又侘事なし只、妙〇經の七字五字を日本國の一切衆生の口に入れんとはげむ計り也。此れ即母の赤子の口に乳を入れんとはげむ慈悲也。(諫曉八幡抄縮2034)

建長五年四月廿八日はお祖師様の立教開宗された日です。それから弘安年間に至るまで、この成仏の法たるお題目を唱えさせようとしただけで、ほかの事ではないのだと仰せられた御妙判です。末法における法華經の修行

のいちばん大事なもの即ち「化他即自行」を年間通して実践したいものです。「自行若満必有化他」という語があります。「ジギョウ、ニヤクマンヒツツウケタ」と読みます。即ち、自分の修行が増進してくると、必ず、その信行は「ヒトをタスケル」という形になつて、ひとりでの法華經の御本意に叶うところの菩薩行になるというのが、この語の意味ですが、リクツではたしか

に、そうなりますが、若し一生かゝつて「若満」しなかつたら、二乗と同じように、化他行のない自分だけの修行で終わってしまうという事にもなりかねません。ですから、末法における法華經の信心というのには「化他が自行なのだ」という心で修行せねばならないというのが、「化他即自行」の意味です。

いつも第一に御弘通という事を想つて日々の口唱信行に怠りなきようにするのが「化

他即自行」であります。

開導聖人は

「妙〇經の極意は、人を助

けんと行ずれば我身たすかる

と云ふ菩薩行也。是即此經

の御本意也」 (仏立要談)

と御指南下されてあります。

又、

「人を助けんと思ふ口唱が

かへつて我身の為となる也」

(十巻抄)

「弘めんとおもふ心の一筋に

お唱へ申せ妙法の五字

此ノ中ニ汝ガ所願ヲ別ニ願

ハズトモ弘メント思フ折伏ゴ  
コロニ唱へヨ、其中ニコモル  
ト教へ下ヒタル歌也」  
(十巻抄14-369)

と仰せられて、お祖師様の教えをそのまゝ頂いて、御弘通を祈り乍ら、口唱に精進するとう、いちばんの基本の「化他即自行」をしつかりと実践させて頂くことが肝心です。

